



ラシェット シャンプノワーズの正門から続く麗しきアプローチ



ミシュランの3ツ星とゴー・ミヨ誌のcock帽が5つ並んだプレートを誇らしげに掲げている



ダイニングルームは「Château Les Crayères」とは対照的にコンテンポラリー感覚の現代的なデザインである



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。
74年 Munich Re 入社。85年築地
原健代表取締役。2001年投資顧
問会社原健設立、代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコン
サルタント協会理事。
www.jhrca.com/worldhotel
現在、筆者のホームページで「世界
のリーディングホテル」を連載中。
多くの美しい写真と興味深いコメン
トで、世界中のホテルとそれら関連
都市を紹介。

ラシェット シャンプノワーズ L'Assiette Champenoise

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



1975年に創業したオーベルジュスタイルの「L'Assiette Champenoise」はシャンパーニュの中心ランス郊外に位置し、2ヘクタールの美しい庭園を有する



まずは好みのシャンパーニュの選択からはじまる



ミシュランスターシェフでオーナーのアルノー・ラルマン氏が創作する官能的な料理が魅力だ



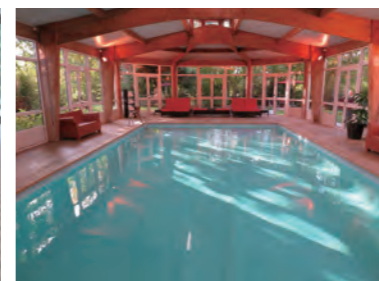
ゲストの憩いの場として4部屋の意匠の異なるギャラリーを新設している



館内はクラシックな中にも現代的な雰囲気を感じられる



朝食は専用のブレックファストルームを用意。英国マナーハウスの雰囲気ゆつたりと楽しめる



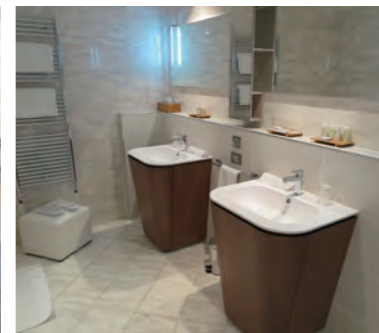
木の香りがする室内温水プール。夏になるとドアを全開したオープンエアとなる



約50㎡の広さを持つ「Large Room with dressing」のベッドルーム。家具や備品、バスルームのデザインなど独創的な印象を受ける



「Large Room with dressing」のシッティングエリア



バスルームの独立したシンクは斬新で独創的な感性を覚える

ランスには有名シャンパーニュのメゾンだけでなく、歴代のフランス国王が戴冠式を執り行ってきた世界遺産のランス大聖堂など見所が豊富だ。1975年に創業したオーベルジュスタイルの「L'Assiette Champenoise」はその郊外に位置し、2ヘクタールの美しい庭園を有する。客室のインテリアは「Château Les Crayères」（本誌 Vol.109 参照）とは対照的にアーバンコンテンポラリーのデザインで、建物の雰囲気は大きく異なる。2014年にミシュランの3ツ星へ昇格したレストランでは、オーナーシェフのアルノー・ラルマン氏が創作する官能的な料理が魅力である。

Arnaud Lallement氏は、26歳の時にミシュラン1ツ星、30歳で史上最年少2ツ星を獲得。2013年にはゴー・ミヨ誌の最高評価であるcock帽5つを獲得し、翌年には同誌の「今年のシェフ」に選出された。40歳を目前にして2014年版ミシュランガイドの3ツ星に昇格している。フランス全国から厳選された食材を使ったラルマンの独創性が光る料理が、季節ごとにメニューを入れ替えて提供される。最愛の奥さんが一緒に厨房に入り、ラルマン・ファミリーを演出。「Famille Lallement」の名を全国に広め、地元食通ファンの心を掴んでいる。

ラシェット シャンプノワーズはスイートを含め、客室数33室の可愛いホテルである。正面エントランス左手に、ミシュランの3ツ星とゴー・ミヨのcock帽が5つ並んだプレートを誇らしげに掲げている。筆者にアサインされた部屋は約50㎡の広さを持つ「Large Room with dressing」で、家具や備品、バスルームのデザインなど独創的な印象を受ける。シェフの名を冠したメインダイニング「A. Lallement」は1階と2階に分かれており、宿泊はせず、食事目当てで訪れるリピーター客も多い。また、朝食は専用のブレックファストルームを用意して、英国のマナーハウスの雰囲気ゆつたりと楽しめる。嬉しい事に、ホテルは木の香りがする室内温水プールを擁し、夏になるとドアを全開したオープンエアとなる。広大な芝生と森の庭園との一体感が実に気持ちよい。

ラシェット シャンプノワーズは2004年に大規模な改装工事が行われ、ゲストの憩いの場として4部屋の意匠の異なるギャラリーを新設。館内はクラシックな中にも現代的な雰囲気が感じられ、家具のデザインはフィリップ・スタルク、壁を飾るのは巨匠ピエール・スラージュの絵画作品、シャンデリアはパカラと見応えの空間が広がる。ホテルは現在、Relais & Chateauxのメンバーとなっている。

WORLD'S PRESTIGE HOTELS
世界の名門ホテル
小原康裕 渾身の写真集第二弾
「世界の名門ホテル」
絶賛発売中
世界最高ランクのホテルの
美しい写真と解説にご期待ください。